

令和5年 3月27日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市民病院あり方検討会
会 長 小 野 友 道

荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に
関する点検・評価報告書の提出について

荒尾市民病院あり方検討会において、荒尾市民病院第二期中期経営計画に基づき、令和3年度の実施状況を点検・評価した結果、別紙のとおり、報告書を取りまとめましたので、ここに提出いたします。

なお、本計画期間中の実施状況については、第一期の計画期間から引き続き黒字を維持し、令和3年度決算においては、累積欠損金の解消に至り経営改善マインドが定着してきていますが、新病院開院や新型コロナウイルス感染症、医師の時間外労働規制への対応など医療を取りまく環境は依然として厳しく、引き続き健全な経営に努める必要があります。

下記の事項に留意され、持続可能な地域医療に努められるよう切に希望します。

記

1. 経営の改善体制が定着してきた状況ではあるが、医師確保や人材の育成等、将来を見据えた効果的な政策的投資を行う一方で、人件費に見合った医業収益の確保に努め、健全な経営の推進に取り組むこと。また、医業費用についても、材料費高騰を見据え、効率的な経営に努めること。
2. 地域救命救急センターの指定を目指す上では、関連する業務の実績を引き続き積み重ねながら、救急医療の拠点機能を高めることが重要であること。また、地域医療構想を踏まえ、荒尾市民病院に求められる急性期病院の役割を果たし、介護や住まい、生活支援サービスなどと切れ目のない連携を図り、地域住民の信頼と安心に応える病院であること。
3. 新病院開院や人口減少が見込まれる中、地域住民の生命と暮らしを守る拠点病院として機能を維持するため、人材の確保に努めるとともに、働くメディカルスタッフが、適正な勤務環境の下で医療を提供できる体制の構築に努めること。
4. 点検・評価の過程で提起された多くの意見については、計画・実施段階における検討材料として十分参考にされたいこと。

【添付資料】

1. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書（1部）
2. 荒尾市民病院第二期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価資料（1部）